

ケアマネ通信

第 35 号

発行 上越地域居宅支援事業推進協議会 2018年8月吉日

平成 29 年度講演会

日時 平成 30 年 6 月 12 日 (火) 13 時 30 分～16 時 00 分
会場 上越リージョンプラザ
演題 「HIV を含めた感染症について知識を深め支援にいかそう」
講師 上越地域振興局 医薬予防課
保健師 半田 唯 氏
県立中央病院 医療安全管理室
感染管理認定看護師 相田 清子 氏



『研修会に参加して』

老人介護支援センターさくら 金井 理津子
去る 6 月 12 日 (火)、リージョンプラザ上越コンサートホールにて『HIV を含めた感染症について知識を深め支援にいかそう』との演題で研修会がおこなわれた。上越地域振興局保健師 半田唯氏、県立中央病院感染管理認定看護師 相田清子氏より、感染症やH

I V の興味深い内容のお話を聴くことができた。

まず、「H I V」と「エイズ」の違いを理解していなかったのであるが、「H I V」とはH I V感染期～10年以上をかけて無症状のままのキャリア期をいい、「エイズ」とはH I V感染の最後の状態で免疫低下に陥った状態のことをいうのであると知った。

また、LGBT:セクシャル・マイノリティ(性的少数者)への理解が叫ばれている昨今、H I V感染の約7割が同性愛者であることや、LGBTが50人に1人の割合で遺伝子に組み込まれているということも知ることができた。

H I Vの治療は著しく進歩し、正しい治療を受けることで、H I V感染者の寿命は大幅に伸びている。そうした中で、H I V感染者の高齢化により、介護保険サービス利用に至る利用者もでてくるであろう。

H I V感染者が必要な介護サービスを弊害なく利用できるように、私達ケアマネジャーができることは、自身がH I V感染の正しい知識を身に付け、知識をもって偏見や差別を払拭するための取り組みをおこない、地域環境を整えていくことであると感じた。

よい学びの機会を得たことに感謝し、今後の支援に活かしていきたい。





「H I Vを含めた感染症について知識を深め支援にいかそう」アンケート結果 (154 人参加)



【ご意見、ご感想】

- ・ エイズについての偏見が少なくなりましたが、まだまだ根強くあると思う。高齢化に伴う支援が必要だと感じた。
- ・ 業務に生かせる研修会だといいかと感じました。感染症は身近ではありますが、在宅で行かせるものであればよかったように感じます。
- ・ エイズの内容をもっと時間をかけて聞きたかった。
- ・ もう少しH I Vに特化した内容を期待しましたが残念でした。
- ・ 講師への講義内容の依頼の仕方等、検討が必要だったかもしれません。等々

【今後開催してもらいたい研修形態、今後実施してもらいたい研修について】

●研修形態

- | | | |
|-----------|----|--------|
| 1. 座学・講義型 | 79 | |
| 2. 対話・体験型 | 32 | 未記入 23 |

●研修内容

- ・ 看取り（ターミナルケア）について
- ・ 認知症の本人、家族との関わり方について
- ・ 生活困難者への対応について（生活保護）
- ・ ケアマネとしての個人情報の取扱い知識について
- ・ 日常業務の悩み事について
- ・ ケアマネのバーンアウトを防ぐには（ケアマネが元気になり希望の持てるようなもの）
- ・ 心の健康について
- ・ 各種中毒について
- ・ 発達障害について
- ・ 精神障害とケアマネとしての関わり方、留意点
- ・ 介護予防プラン作成について
- ・ ケアマネジメンツの（30 年度）改正に合わせた再確認（Q & Aにあげられた内容や医療機関との連携方法など）
- ・ 社会資源について（社会資源を入れたプラン作成）
- ・ MC ネットの活用例
- ・ 障害者の支援、家族支援について（差別をなくすには？）
- ・ 高齢者支援見守りネットワーク会議の実態と連携について
- ・ 居宅と包括の関わり（包括ケアシステム）について
- ・ 上越市などの各種助成制度について
- ・ パーキンソンなど難病利用者の支援について（体験型研修で）
- ・ 医療知識について（高齢者に多い疾患や障害者理解）
- ・ 後見人制度について

※ケアマネ向けの研修として、もう少し依頼方法の検討が必要だと感じました。今後に生かしたいと思います。



事業所紹介



「老いることが輝く社会に」 part 2

ケアプランいなほ園



上越老人福祉協会の居宅事業所が統合し、「ケアプランいなほ園」として事業所が誕生して6年目になります。ケアマネ通信の前回登場である part 1 は4年ほど前のことです。

その頃いなほ園から高田の郷に事業所の場所を移し、その後もケアマネ職員スタッフは幾度かの交代がありましたが、今回8月からは写真の3人となりました。これからまた新鮮な気持ちで進んでいきたいと考えているところです。それから「いなほ園」と名のついていることもあり、場所を勘違いされることがよくあります。老人保健施設高田の郷の1階にありますので、くれぐれもお間違いのないようにお願いします。

法人のいなほシニアネットワークのテーマである「老いることが輝く社会に」に向けて、ケアプランいなほ園ケアマネスタッフは利用者様と向き合い、人生の伴奏者として人生に歩み寄り、共にケアプランを立てさせて頂きたいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。



ほくら園居宅介護支援事業所

管理者 江口孝広

事業所紹介の話をいただき、過去のケアマネ通信をペラペラとめくっていたところ、2003年3月31日発行の第4号に“くびき社会事業協会居宅介護支援事業所”として他部署で今も変わらず??活躍されている二人の女性ケアマネの写真と共に当事業者が紹介されており、そこには「平成12年にスタートしてから頭の中が迷路状態、緊張して利用者宅を訪問・・・(略)・・・利用者に信頼されるケアマネージャーを目指して頑張っていきたい」と書かれていました。悩み、苦労しながらも利用者や家族からの信頼を積み重ねてきたことで今の“ほくら園居宅”があることを実感しました。ケアマネジメンの質のアップはもちろんですが、さらに信頼を積み重ねていきたいと思ひます。



最後に当法人の基本理念を紹介します。

『老いを豊かに』 あなたと共に地域と共に豊かな老いの共創を



地域のインフォーマルサービスについて情報収集をしました・・



家事援助、買い物代行、高齢者の見守り・話し相手、留守中の水やり、粗大ごみ出し、 子供の送迎、産前・産後援助、病院への代行、障子の張り替え、庭の水やり 等

※詳細は電話で確認して下さい。

- スティック（上越市から委託・訪問B）
 - ・対象者 要支援1.2 チェックリスト 1時間 500円 ボランティアが利用者と一緒に行く。
 - ・実施地域 上越市
 - ・電話番号 025-523-0700
- コスモスの会（コープくらしの助け合い新潟）
 - ・対象者 総合生協会員
 - ・実施地域 上越市・妙高市・糸魚川市
 - ・電話番号 025-543-3789
- ハーモニー（JAえちご上越）
 - ・電話番号 025-521-0668
- （株）リポーン
 - ・電話番号 025-523-0700
- さくらホームサービス（さくらメディカル）
 - ・電話番号 025-522-1015
- 生活支援ボランティア事業（社協）
 - ・各社協事務所
- ツクイ上越つちはし
 - ・電話番号 025-526-1890

宅配弁当

- 高齢者のお弁当宅配クック123（安否も兼ねる）
 - ・電話番号 025-521-0581
- サンクス高田
 - ・電話番号 025-526-4622
- 日東ベスト株式会社（冷凍食品）
 - ・電話番号 0120-917-549

地域の茶の間(サロン) 介護予防教室 認知症カフェ

※最寄りの地域包括支援センターに相談



地域連携連絡票記載例・がんぎネット掲載について



上越地域在宅医療推進センター・相澤様からの依頼を受け、ケアマネ推進協議会から記入例を介護度別・疾患別に提供させて頂きました。入退院時の時間短縮に役立てて下さい。がんぎネット（ケアマネルーム）を覗いて見て下さい。尚、閲覧は登録制で専用のアドレス・パスワードが必要です。詳しくは下記に問い合わせを行って下さい。

連絡先 上越市地域在宅医療推進センター 相澤様
Tel 025-520-7500
Email aizawa@ganginet.jp

編集後記

猛暑お見舞い申しあげますm()m

次回の研修会は11月頃を予定しています。

アンケート結果を踏まえまして満足いただける内容になるよう計画中です。是非、またご参加下さい。